

地震動観測報告

— その1 昭和62年4月-8月 —

八戸工業大学建築工学科地震動観測運営委員会

Earthquake Observation Report

— Part I 1987 April-August —

Earthquake Observation Committee of Department of
Architecture of Hachinohe Institute of Technology

Abstract

This is a report on the outline of the earthquake observation records, from April to August in 1987. A JE8000B system is used to the observation. The system records 63 components of the earthquake motion of the building of Department of Architecture of Hachinohe Institute of Technology and the ground.

Fig. 1 and Fig. 2 show the epicenter locations of the earthquake records. Fig. 3 shows the relation of the azimuth and the Magnitude. Fig. 4 shows the relation of the azimuth and the epicenter distance (km). In Table 1 and Table 2, the parameters of the observed earthquake records are summarized. In order to determine the epicenter location, magnitude, and the other values, "The Seismological Bulletin of The Japan Meteorological Agency" (April, 1987-August, 1987) are referenced.

1. はじめに

本学建築工学科において、昭和62年4月より、建築工学科棟および周辺地盤を対象とする地震動観測を開始した。本観測では、RC造建物と周辺地盤の地震動下での振動特性を立体的に調べることを目的としている。本観測には、明石製作所 A JE8000B システムにより、総計63成分の地震動の自動観測を行っている。観測システムの詳細については、文献1を参照されたい。

本報告では、本学科の観測システムにおいて観測された地震動記録の中で、震源位置およびマグニチュードなどの諸元が確定された記録について整理し報告する。なお、観測記録の諸元

の決定には気象庁発行の地震月報を用いている(参考文献2から6を参照のこと)。

2. 観測記録の概要

昭和62年4月から8月までに本学科の観測システムにおいて観測、記録された地震動の総数は75である。この観測期間において、4月より、7月8日までは、トリガーレベルは0.1ガル、7月9日から現在までは0.3ガルに設定している。なお、6月1日から6月12日までに期間は、観測システムの不調により欠測している。

この観測期間中の、主な震源域は、岩手県北部、福島県沖、宮城県沖である。図1、図2は、昭和62年4月から8月の期間に観測された地震動の震源位置とマグニチュードをプロットしたものである。この期間中に観測された地震動

昭和63年10月28日受理

八戸工業大学建築工学科